

第3回 八尾翠翔高等学校 学校運営協議会（報告）

協議委員（6名）の参加をいただき、本校教職員（2名）が同席し協議を行った。主な質疑応答については、以下のとおりである。

① 学校教育自己診断の結果について

- ・ 生徒向け診断では、学校満足度、「学校生活についての教員の指導」、「進路実現に向けての指導」、「ICT機器の授業等での活用」が昨年度より10ポイント前後上昇。日頃の指導の継続を反映した結果であると分析。
- ・ 生徒向け診断「行事・ホームルーム等満足度」も昨年度より約10ポイント上昇。コロナ禍でも行事等を工夫して実施できたことを反映されていると分析。
- ・ 生徒向け診断「家庭学習」は50ポイント以下。学習習慣の定着が課題。
- ・ 保護者向け診断では、学校満足度、「生徒指導・教育相談」、「進路実現に向けての指導」が80ポイント超を維持。また、「教育情報の提供努力」、「学校ホームページの閲覧」、「部活動の積極的な取り組み」は昨年度より10ポイント前後上昇。

【意見】

- ・ 学校満足度は卒業時に80ポイント超をめざしてほしい。また、例年2年生の結果が低くなること、今年度1年生の結果が例年に比べて高いことに対する分析が必要。
- ・ 家庭学習の項目は例年学年進行に伴って上昇する傾向。そうでない場合には分析も必要。
- ・ 家庭学習の定着には中学校までの学習内容の理解が必要。抽出指導や習熟度別指導等により、生徒一人ひとりに対するきめ細かい指導の継続を。
- ・ ICT機器が整備されて授業等で活用が進んでおり、生徒・教職員に好影響。今後は設備面に加え学校の様々な魅力が入学前の中学生等にも伝わるよう、情報発信の更なる工夫が必要。

② 学校経営計画について（令和3年度に向けて）

- ・ 進路成果指標（3年時第1志望大合格率90%以上、国公立・難関私立大合格者15人以上）は継続。
- ・ 教職トライ専門コースを本格実施。コース専門科目「教職講義」の円滑な運営、「教職実習」の令和4年度開講に向けた調整・準備を図る。
- ・ 授業や行事等における生徒のプレゼンテーション機会の充実を継続。
- ・ 家庭学習の定着に向け、教養委員会で議論し、効果的な取組みを検討。
- ・ 学校ホームページの更新回数を増やすなど、更なる情報発信を充実。

【意見】

- ・ 教職トライ専門コースは公立高校であり見られない取組み。「教職講義」ではすでに大学と連携して講師を選定済みであり、今後は授業計画の充実が期待される。一方、「教職実習」では高校生が小中学校へ実習に行くにあたり、どのような授業内容が現実的に実現可能なのか、八尾市教育委員会・近隣の小中学校等との連携・調整が不可欠。効果的な立案をお願いしたい。例えば、プレゼンテーション能力の育成するのであれば、高校生が小学生に教える経験などは効果的。ぜひ、教員の仕事の負担だけでなく、その魅力も伝わるような授業内容を工夫してほしい。